



開催まであと**71日**(7月1日時点)

平成23年  
9月10日(土)  
11日(日)開催!

~おもてなしの心と  
元気な笑顔でお迎えます~

## 関東B-1グランプリin行田 実行委員会(第2回)を開催

5月25日、商工センターにおいて2回目となる関東B-1グランプリin行田実行委員会を開催しました。実行委員会では、予算案や事業実施計画案、また各部会の進行状況報告など、提出された4議案について審議を行い、すべて承認するとともに、大会開催に向けて実行委員会が一丸となり、オール行田で取り組む姿勢を改めて確認しました。今後とも皆さんの温かいご支援とご協力をお願いします。

## はし型トロフィー!?がお目見え

関東B-1グランプリin行田では、料理購入者のはしによる人気投票を行い、関東ナンバーワンのご当地グルメを決定します。上位入賞団体へは副賞を贈呈する予定ですが、これが何と金・銀・銅のはし型トロフィーなのです。これを手にする団体は、あなたの一膳<sup>いちぜん</sup>で決まります。

なお、大会開催までの間、金・銀・銅のはし型トロフィーを市役所2階に展示していますので、ぜひご覧ください。



上位入賞団体に贈呈されるはし型トロフィー

## 行田おもてなしガールズ隊も 応援しています

市役所女性職員を中心に結成され、行田の歴史や街並み、さらにはおいしい地元の食べ物を紹介し、行田市に来ていただいた方に対して幸せを送るという志をもった行田おもてなしガールズ隊。彼女たちも関東B-1グランプリを応援しています。まち全体でおもてなしの心を持って、この大会を盛り上げていきましょう。



行田おもてなし  
ガールズ隊

## おもてなしの心

市内には、現存する蔵を活用してまちおこしを目指している方々があります。また、古代蓮の開花時期に、育てたホタルを放して、趣を添えてくれている方がいます。さきたま火祭りの実行委員さんは埼玉地区の方々です。行田をゴシゴシ掃除してくれている方もいます。まだまだ紹介しきれないさまざまな方がボランティアの気持ちで、行田のために活動しています。皆さん誰かに言われたのではなく、「行田を愛し、行田がこうあったらいいな」と自発的に行動し始めたのだと思います。

今回の「関東B-1グランプリin行田」には、2日間で10万人とも15万人ともいわれるお客様が行田市を訪れます。その方々に行田市を気に入ってもらえたら、その人は自分の住む場所に帰って、「行田市に行ってきたけど、とてもいいところだったよ」と宣伝してくれるでしょう。また、当人も行田のファンになって、2度3度と訪れてくれるのではないのでしょうか。

まちおこしとは、まず市民がそのまちを愛し、誇りに思うことが第一です。そして、それを訪れた人に上手に伝え、そのまちのファンを増やしていく作業だと思います。ですから、今回の大会においては、どうか市民の皆さんには、お客様に喜んでいただけるような対応をとっていただきたいのです。

「行田市内で100年近く愛され続けられているゼリーフライに誇りを持ち、市民共有の大切な食の文化と捉え、全国にその名を広め、さらに地域の活性化とまちおこしに寄与する事を目的に活動しています。」私たち行田ゼリーフライ研究会の名刺の裏側には、こう印刷してあります。

(行田ゼリーフライ研究会会長 松井秀二郎)

### ▶問い合わせ

関東B-1グランプリin行田実行委員会事務局  
(観光プロジェクト推進室内) ☎556-7130